

ちゃんを見送りました。

「行ってまいります。」

と、かる子ちゃんが元気に言いました。

「行ってらっしゃい、気をつけてね。」

「人工衛星にぶつからないように。」

「帰ったら『子どもの星』のお話、たくさんきかせてね。」

「おみやげ忘れないでね。」

かる子ちゃんが、むらさき色の大きなはねをまわしてあがっていくと、たくさんのお鳥が、いっしょに、パッととびたちました。とちゅうまで送っていくのです。かる子ちゃんは、はねをぐるぐるまわしました。かる子ちゃんの早いこと、早いこと。おかあさんたちには、もう、小さな一つの点のように見えます。

「行ってらっしゃーい。」

「行ってらっしゃーい。」



「かる子ちゃん、行ってらっしゃーい！」
こうしてかる子ちゃんは『子どもの星』
へ出かけていきました。

『子どもの星』のお話は、また、このつぎに、いたしましょう。

(おわり)

幼児の教育 第五十七巻 第八号

八月号 © 定価 五十円

昭和三十三年七月二十五日印刷

昭和三十三年八月 一 日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 発行 者 津 守 真

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします。